

心肺蘇生法を学習して

射水市立小杉南中学校 2 学年 H27. 7. 9 実施



射水市医師会の医師や看護師、射水消防署の救急救命士や女性消防団員の方々を講師に迎え、心肺蘇生法実技講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を、実習人形やAEDトレーナーを使って学びました。実施後の感想を紹介します。

1年に何百件もの119番通報があり、そのうち80件は、心肺停止で通報されていると聞いてびっくりしました。いつどんなことがあるか分からないので、とてもためになりました。この経験を忘れないようにしたいです。(1組)

いざという時に、自分から行動できるように「真剣」に学ぶことができましたと思います。大切な命を守れるのは自分しかいない状況になったら、パニックにならずに行動できるかが大切だと思いました。大切な命を救うために、忘れずに、恥ずかしながらにしたいと思います。(1組)

命に関わる大切なことを学びました。もし、本当に人が倒れていたら、ためらうと思うけど、勇気を出して人命のために行いたいと思います。この経験を大切にしていきたいです。(1組)



心肺蘇生法の難しさが分かりました。特に、心臓マッサージが難しくて疲れました。一つ一つの作業が難しく大変でした。でも、この行動で人の命が助かるのなら、倒れている人がいたら、自分から心肺蘇生をしたいです。(1組)

道で倒れている人がいたら…と考えると、今日の講習を受けているのといないのではかなり差があると思いました。人の命を助けようと思う前に、まず、自分の身の安全を考える等、非常時になればなるほど、冷静な判断が求められることが分かり、大変なことだと思いました。(2組)



胸骨圧迫はつらくて、6分で600回もしなければいけない大切なことでした。人工呼吸も、なかなか空気が入らずにつらかったです。でも、これをしなかったら、確実に死んでしまうと分かりました。(2組)

最初の木田先生の話が印象に残りました。「死ぬ」ということを深く考えずに、今までふざけて言っていたこともある自分が最低だと感じました。胸骨圧迫が意外に難しく、助けを呼ぶ所が恥ずかしかつたけど、大きな声で出来ました。救急車がくるまでの6～8分の救命が、本当に大切だと分かりました。出来れば遭遇したくはないけれど、万一の時は冷静になろうと思いました。(2組)



胸骨圧迫の時に思ったよりも力がいったので、驚きました。肘を曲げずに圧迫するのも難しくて、人命救助は本当に大変だと思いました。(3組)

とても緊張したけど、看護師の方から、胸骨圧迫の位置や顔を上げる方法等、一つ一つ丁寧に教えてもらってできるようになりました。人工呼吸は、なかなか空気が入らず、何回かやって空気が入った時は、とてもうれしかったです。もし、倒れている人がいたら、勇気を出したいと思います。(3組)

初めて心肺蘇生法をしました。胸骨圧迫だけでなく、色々なことをしなければならぬことも学びました。将来、倒れている人がいたら、今日の経験を生かせるとうよいと思います。指導者の方が優しく接して下さったので、うれしかったです。(3組)

人が倒れたら、救命士の人に来てからでは遅く、周りの人が先に手当をしないと助からないと知り、心肺蘇生法はとても大切だと分かりました。それにたくさん手順があっただけ、覚えられてよかったです。(4組)



今まで、本当に心肺蘇生法で人が助かるのか？とっていました。でも、今日、消防署員の方の話を聞いて、大切な意味があると分かりました。そういう状況の時、落ち着いて、今日習ったことを生かしたいです。(4組)

看護師さんが最初から最後まで丁寧に教えて下さいました。特に大事だと思った所は、2つあります。1つ目は、胸骨圧迫のやり方と手の形、2つ目は、人工呼吸のやり方とやる流れです。

自分がいざという時に混乱しないように、その人の力になれるように、今日学んだことを忘れないようにしたいです。(4組)

私たちの行動で命が助かる可能性があるのなら、私はいざという時に、教えてもらった心肺蘇生法をしようと思いました。順番が分からなくなったけど、覚えて人の役に立ちたいです。AEDのやり方も分からなかったけど、教えてもらったので、できる気がします。(4組)

心臓マッサージが、あんなに大変なものだとは知りませんでした。指導して下さった先生に感謝します。生死の境にいる人を呼び戻すには、スピードや知識、正確さが必要だと分かりました。もしもの時、焦らずにしたいと思います。(4組)

